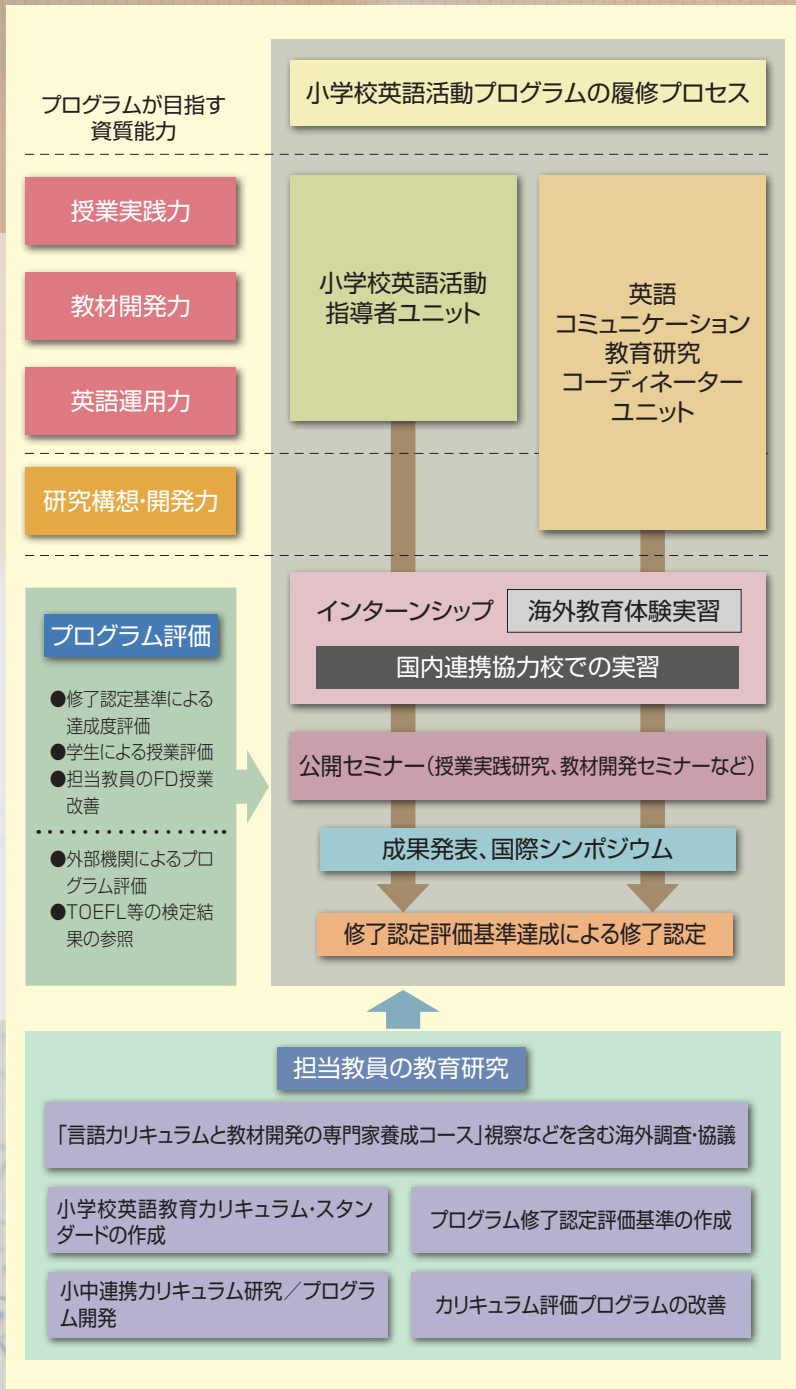


# 小学校英語GPの概念図



加え、次のような「研究構想開発力」の育成も重視しています。

① 小学校外外国語活動を幅広く支える児童生徒の発達理論や身体論、芸術における表現論など関連する諸分野における知識・技能

② 教員同士が協働して外国語活動のカリキュラムや教材の研究開発に取り組む研究コーディネーター力、教育委員会や民間企業等との協働的なプロ

**平成23(2011)年度の両ユニットの受講生の内訳**

指導者ユニット▶2年生=8人(言語系コース(英語)4人、教育コミュニケーションコース、臨床心理学コース、心身障害コース、自然系コース(理科)各1人)▶1年生=6人(学校心理・発達健康教育コース、認識形成系教育コース(数学)各2人、教育コミュニケーションコース、文化表現系教育コース(国語)各1人)

コーディネーターユニット▶1年生=7人(文化表現系教育コース(英語)3人、教育コミュニケーションコース、臨床心理学コース、障害科学コース、文化表現系教育コース(美術)各1人)

プロジェクトに参画し、カリキュラムや教材、教員研修プログラムを開発できる企画力



## 文部科学省からの 支援も受け 必修化を見据えて スタート

兵庫教育大学大学院では小学校で外国語活動が必修化するのにも先駆け、4年前から「小学校英語活動プログラム」を立ち上げる準備を進めていました。そのころ、文部科学省の平成21(2009)年度「組織的な大学院教育改革推進プログラム」に、小学校英語活動プログラムを含む「小学校英語活動指導者・研究者の育成事業」(小学校英語GP)を申請したところ採択され、21年度から3年間、文部科学省の補助金による支援を受けて小学校英語GPを実施しています。

## 授業実践力や 教材開発力を 育成する 二つのユニット

小学校英語活動プログラムは「小学校英語活動指導者ユニット」と「英語コミュニケーション教育研究コーディネーターユニット」の二つのユニットで構成して

います。前者は修士課程の現職教員学生と、現職教員以外では小学校教員免許状を所持する学生が対象。後者は修士課程の現職教員学生、現職教員以外では小学校、中学校1種(英語)、高校1種(英語)のいずれかの教員免許状を所持する学生が対象です。昨年度から開始した指導者ユニットは次の三つの能力の育成を目標としています。

【授業実践力】英語でコミュニケーションする楽しさを基軸に、「コミュニケーション能力の素地」を育成する授業実践ができ、かつ授業を分析できる能力

【教材開発力】文部科学省が作成した「英語ノート」の活用も含め、児童や学校の実態に適合した教材を開発する能力

【英語運用力】英語を「聞く、話す」ができる基礎的な技能を基に、授業で英語を運用する能力

今年度から開始したコーディネーターユニットは、学校内での研究推進担当教員、指導主事や教育センター研究員として活躍できる人材を養成し、また博士課程に進学できる資質・能力を育みます。具体的には【授業実践力】【教材開発力】【英語運用力】に

### 教育最前線

# 小学校英語活動の 指導者と研究者の育成を

今年度から小学校で外国語活動がスタートしました。  
兵庫教育大学大学院修士課程では平成22(2010)年4月から「小学校英語活動プログラム」を実施し、  
外国語活動に関する授業実践力や研究能力を育てています。



やま おか とし ひ こ  
**山岡俊比古**

小学校英語コミュニケーション教育研究  
開発プログラム運営室長



## 外部評価委員会から好評価を得る

G Pの運営方法と運営状況について評価を行う第三者機関として外部評価委員会を設置しています。これまでに4回の評価を受け、いずれも好意的な評価を得ています。  
※平成24(2012)年1月末現在



## 多くの関心を集めた国際シンポジウム

昨年10月に英国、米国、韓国、インドセンターで開催。予想を超える教育関係者らが集まりました。閉会後のアンケート調査では評価の高い回答を得ました。

## GP終了後の展望

今年度で文部科学省のGPが終了しますが、小学校外国語活動はスタートしたばかりであり、小学校英語活動プログラムが果たす役割はますます大きくなります。来年度以降もカリキュラムはほぼそのままに、より内容の充実を図っていきます。



## 小学校英語活動

### 英語コミュニケーション教育研究 コーディネーターユニット



ふじ かわ ゆ かり  
**藤原由香里**さん  
大学院修士課程  
教育コミュニケーションコース1年

**現** 任校で外国語活動のプランづくりに携わり、実際に授業も行っていたので、小学校英語活動プログラムには迷わず参加を希望しました。前期に受講した「小学校英語活動教材研究」では、英語活動の授業映像を見ての意見交換、絵本を使った教材作成、グループでの指導案作成、模擬授業な

ど、さまざまな実践と理論を踏まえながら体験的に学ぶことができました。また、中学校の英語教員や英語を専門とする受講生も多くいて、自分とは異なる立場からの意見を聞けたことは大きな収穫となりました。

私は英語教員の免許状を持っていませんが、言語学や英語教育についての専門的な授業を受講できて、大変勉強になっています。大学院では他コースの院生と知り合う機会は多くありませんが、プログラムというコミュニティーを通して、いろいろなコースの院生と知り合い、英語活動はもちろん、互いの研究について交流することができて大変心強いです。

### 英語コミュニケーション教育研究 コーディネーターユニット



さ か づ め ゆ み  
**坂詰由美**さん  
大学院修士課程  
文化表現系教育コース  
[言語系教育分野(英語)]1年

**小** 学校英語活動プログラム受講生専用のラボにはパソコンと外国語活動の教材がそろっています。その部屋で、日々、さまざまなコースの人たちと議論できることがプログラムの良さだと思います。学会発表用のプレゼンテーションをチェックし合ったり、e-ポートフォリオのブログで学び合ったりと絆

# 小学校英語GPPの 3年間の成果を検証

## インターシップで授業実践力を育成

小学校英語活動指導者  
ユニットと英語コミュニケー  
ション教育研究コーデ  
ィネーターユニットの授業科  
目に「小学校英語活動イン  
ターシップ」と「インター  
授業実践力を磨きました。

「インターシッププリレクシオン」を  
設定。受講生は小学校現場  
で外国語活動を指導し、そ  
れを振り返り、さまざまな  
角度から再検討することで



## 受講生の目標到達度を明らかに

両ユニットの修了認定証  
には外部テスト、インター  
シップでの自己評価、e-  
ポートフォリオの評定と記  
述的評価を付記する予定で  
す。これにより受講生は自  
分の目標達成レベルが分か  
り、今後の課題を明確に設  
定しやすくなります。

## プログラム受講生の声

### 小学校英語活動指導者ユニット



だて はじめ  
**伊達 肇**さん  
大学院修士課程  
認識形成系教育コース  
【自然系教育分野(数字)】1年

**前** 任校を含め、これまで約10年間、小学校  
外国語活動に取り組んできました。外国  
人講師と共に授業を進めていく中で、ゲームや  
歌などが中心になりがちな活動をより充実したも  
のに変えていきたいと思うようになりました。それが  
「小学校英語活動プログラム」を受講した一番

の理由です。

1年間にわたって講義を受け、演習に取り組  
む中で、「母語と外国語について学習者がどの  
ように学んでいくか」「子どもたちの知的好奇心  
をより一層刺激する外国語活動はどのようにあ  
るべきか」など多くのことを学びました。今後は学  
んだことを生かしながらユニットの先生方にご指  
導いただき、「いつでも」「どこでも」「誰とでも」で  
きるような外国語活動を目指し、授業構想を練り  
上げていきたいと思っています。